

**令和元年度障害者統計の充実に係る調査研究事業
報告書**

令和2年3月

株式会社 野村総合研究所

目次

・ 本事業の目的.....	1
1. 障害者統計の充実の必要性.....	1
1) 障害者政策の観点からの必要性.....	1
2) 統計整備の観点からの必要性.....	3
2. 検討すべき対応策.....	6
1) 障害者を捉える設問の導入.....	6
2) 導入による政策的意義.....	7
・ 基本的な検討の進め方.....	8
1. 実施体制.....	8
2. 実施内容.....	8
1) 障害者を捉える設問に関する調査.....	8
2) 障害者統計の国際的な動向の把握.....	8
・ 検討チーム.....	9
1. 検討チームの設置とその目的.....	9
2. 検討チームの構成.....	9
3. 検討チーム会合の実施時期及び議事.....	10
・ 障害者を捉える設問に関する調査.....	11
1. 本調査で対象とした設問.....	11
1) ワシントングループの設問.....	11
2) 欧州統計局の設問.....	15
3) WHODAS2.0.....	18
2. 検証の視点.....	21
1) 集計結果の妥当性の評価.....	21
2) 回答のしやすさ.....	23
3. 調査の方法.....	24
1) 調査の体系.....	24
2) 個々の調査方法の概要.....	24
4. 調査の結果.....	31
1) インターネット調査.....	31
2) 紙面調査.....	145
3) グループインタビュー.....	203
5. 調査結果の検証(まとめ).....	205
1) ワシントングループの設問.....	205
2) 欧州統計局の設問.....	208

3) WHODAS2.0	211
. 障害者統計の国際的な動向の把握	212
1 . 国際機関の動向	212
1) 国連統計委員会	212
2) 国連障害者権利委員会	212
3) 欧州委員会	214
2 . 主要先進国の動向	219
1) フランス	219
2) アメリカ	221
3) イギリス	222
4) ドイツ	225
5) イタリア	227
6) カナダ	228
3 . 国際的な動向の把握のまとめ	234
1) 国際機関の動向	234
2) 主要先進国の動向	234
. 今後の障害者統計の在り方（まとめ）	236